

つながる・ひろがる・ふくしのか!

# ちゃお!

令和2年10月1日

No. 97

No. 97

も  
く  
じ

- ～えがおをとどけるボランティア～ ジュニアボランティアグループはっぴいー-----①
- 笑顔でごはんフードパントリー事業を始めました / 『新しい生活様式(ライフスタイル)』を発行しました-----②
- こんにちは!ボランティアセンターです★-----③
- ～じぶんの町を良くするしくみ～ 『赤い羽根共同募金運動』が始まりました / 寄付報告みなさまの善意-----④

本紙では、固有の名称を除き「障がい」と表記します。



所沢市社会福祉協議会のシンボルマークです。

## えがおをとどけるボランティア



# ジュニアボランティアグループ はっぴいー



メッセージボード



作成中



ゴミ拾い隊

2013年12月に立ち上がった「ジュニアボランティアグループはっぴいー」は、小学生のこどもたちが、「えがおをとどけるボランティア」として、高齢者施設や行事等では人形劇の披露、児童館では絵本の読み聞かせ、公園でのゴミ拾い隊などを行ってきました。

しかし、コロナ禍により学校の一斉休校や緊急事態宣言で、「はっぴいー」の活動は全て中止となってしまいました。そんな中、小学校を卒業した「はっぴいー」のOB・

OGたち「はっぴねす」のメンバーが会議を開催し、「何かやったほうが良いと思う!今できることをやろう!」と提案しました。

そこで「はっぴいー」・「はっぴねす」合同で、人形劇を通じてお世話になっている高齢者施設の利用者の方々へお便りを届けたほか、児童館のこどもたちに元気になれるメッセージをちりばめた、メッセージボード(模造紙)を作成するなど、自分たちなりにできることを実践しています。

新型コロナウイルス感染症による影響を受けられましたみなさまには、心よりお見舞い申し上げます。生活にお困りの方は、本会までご相談ください。【福祉の相談窓口 TEL : 04-2941-6366】

「愛の福祉基金」を活用して

## 笑顔でごはん フードパントリー事業を始めました



新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、経済的に困窮している世帯やひとり親家庭等への支援を目的に緊急的な食料提供(笑顔でごはんフードパントリー事業)を市内子ども食堂等の団体と連携して行っています。令和2年5月からモデル事業として実施し、9月から本格的に事業化しました。この取り組みを通して、必要に応じてCSW(コミュニティソーシャルワーカー)がかかわり、他の福祉支援にもつなげています。

現在、市内の4ヶ所の子ども支援に取り組む団体がフードパントリーの取り組みを行っており、本会からも愛の福祉基金を活用し、レトルト等の調理の必要がない食品や地元商店のお弁当を購入して支援しています。

今後は市内の協力団体を増やし、この事業を広げていきます。ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、ぜひ本会までお問い合わせください。

※CSW(コミュニティソーシャルワーカー)とは…

個人の困り事を地域の課題として捉え、様々な関係機関や住民と連携しながら、解決に向けての仕組みづくりをしていく専門職です。

## 「愛の福祉基金」を活用して購入した食品の詰め合わせ



※「愛の福祉基金」は、寄付者からいただいた寄付で積み立てた基金を、ボランティア推進事業や成年後見事業に活用しています。ぜひ、愛の福祉基金への寄付のご協力をお願いします。

こんな取り組みも！  
まずだ

### 「増田さん家」



QRコードを読み取ると、代表の増田さんのインタビュー動画をご覧ください。



スタッフの料理をお弁当箱に詰めて持ち帰る様子

「笑顔でごはんフードパントリー事業」にご協力いただいている子ども食堂の「増田さん家」は、自宅の民家を開放して行っています。どこに相談したらよいか分からず、地域で孤立している世帯がいるという状況を知ったことをきっかけに立ち上げた子ども食堂です。

何でも相談できる身近な居場所を目指して開催していますが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、スタッフが作った料理をそれぞれの自宅に持ち帰ってもらい、密を避ける工夫をして実施しています。

フードパントリーのご利用をご希望の方や周囲に不安や悩みを抱えている方(世帯)がいましたら、本会へご相談ください。

【問い合わせ】地域福祉推進課 TEL: 04-2925-0041

## ライフスタイル

# 『新しい生活様式』を発行しました

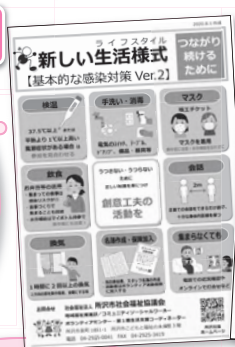


本会では地域福祉活動の再開に向けた「新しい生活様式(ライフスタイル)」のチラシを作成しました。

このチラシには、「つながりを絶やさない」「離れていてもつながる」ことを目的とし、基本的な感染対策が示されています。具体的には、「検温」、「手洗い・消毒」、「マスクの着用」、「換気」、「会食会や子ども食堂」、「茶話会・会議や学習」、「体操」、「集まらなくてもできること」などの項目で表しています。

このチラシは本会窓口や各まちづくりセンターなどでも配布しています。また、ホームページにも掲載をしていますので、ご活用ください。

Ver.1



マスクを着用!

検温 37.5℃以上は参加を見送りましょう

Ver.2



こまめな換気を!

集まってるの食事は注意!

# こんにちは! ボランティアセンターです☆

## 地域のサロン、 今どうしてる?

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を休止しているサロンが少なくありません。一方で、工夫を凝らしながら、つながりを絶やさない活動へと切り替えたボランティアグループがあります。

### シルバーサロン (富岡地区)

シルバーサロンは高齢者が住まいの近くで集える憩いの場をつくることを目的として、中富南コミュニティセンターでのサロン活動を行ってきました。



感染拡大防止のため、サロン活動ができなくなると、会員の自宅を訪問し、「玄関先でのコーヒーのお渡し」と「お元気ですか?」という声掛けに切り替えて活動を行いました。会員からは「今は会いに来てくれるのが楽しみ」といった声が上がっています。

※7月後半からは、再度感染者が増加したため一旦活動を休止しています。

### 寿いきいきサロン (所沢地区)

「寿いきいきサロン」では、これまで月1回のサロン活動を行ってきました。現在は、地域住民へのアンケートとその結果をお伝えする「寿いきいき通信」を作成してつながりを保つ活動へと切り替えています。

また、サロンには毎回25人前後の参加者がいましたが、アンケートではサロンに来ていない方の声も聞こえ、対象を町内の70歳以上の方として、「コロナ禍の中で困っていること・不安なこと」や「どのような工夫をしたら、安心してサロンに参加できるか」などを伺っています。

また、アンケートや「寿いきいき通信」と一緒に、担当地区の民生委員紹介文も添えて配布しており、安心して相談しやすい関係づくりにも取り組んでいます。



こんな取り組み  
しています!

## 地域福祉サポーターの活動紹介 ～フードドライブ事業～



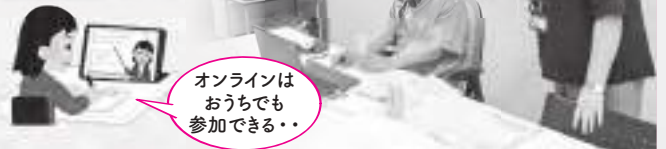
地域福祉サポーター世話役会の皆様から、「コロナ禍で生活にお困りの方のために何かできることはないか」という声があり、世話役会が中心となって各地区のサポーターにレトルト食品などの食料寄付の呼びかけを行いました。その結果、たくさんの食料を本会「あったかサポートセンター」にご寄付いただきました。

世話役会では、「これで終了ではなく、今後も継続した支援活動を行っていこう」と話し合われています。

※地域福祉サポーターとは…

身近な地域で起きている問題などに“気づき”、その解決に向けて社協と一緒に取り組みながら、地域のことを考えていく人です。次回の養成講座は12月に開催予定です。詳細は本会までお問い合わせください。

## 地域福祉サポーター フォローアップ講座を 開催しました



オンラインは  
おうちでも  
参加できる・

令和2年7月4日(土)、新しい生活様式に沿った取り組みの一環としてYouTubeライブを使ったオンライン形式での講座を開催しました。

本講座では本会地域福祉活動推進会議 委員長 田中英樹氏(東京通信大学教授)をお招きして「地域福祉サポーターの意義」について講義していただき、サポーターの役割を再確認し、日頃の活動を振り返る機会となりました。

また、CSWからは平成30年度の活動報告を行い、サポーターの皆様へ日頃のCSWの取り組みを知っていただくこともできました。オンライン開催にしたことで、当日は最大62名の方にご視聴いただきました。また当日予定があり参加できない方や会場に来ることが難しい方も録画を見て参加することができるようになりました。

もうチェック  
した?

## 所沢社協ボランティアセンターYouTubeチャンネルを開設しました

ぜひ、  
ご覧ください!



ボランティアや福祉に関する情報を配信していますので、ぜひチャンネル登録をよろしくお願ひいたします。また、2面及び3面で紹介した地域活動の詳細も動画で掲載していますので、ぜひご覧ください。

YouTubeチャンネルを  
視聴するには…

- ①右記QRコードを読み取る
- ②YouTube内で「所沢社協ボランティアセンター」で検索





入れてくれて  
ありがとう!

心の「密」は  
絶やさない

赤い羽根共同募金は、  
コロナ禍で生活にお困りの方への  
支援にも役立てられています。

～じぶんの町を良くするしくみ～

# 『赤い羽根共同募金運動』が始まりました

「つながりをたやさない社会づくり」を全国共通テーマに  
『赤い羽根共同募金運動』が全国一斉に始まっています。

みなさまから寄せられた募金は、ボランティア活動の支援や地域の居場所づくり等の  
様々な地域福祉活動の他、大規模災害への対応にも役立てられます。  
みなさまのあたたかいご支援・ご協力をよろしくお願いたします。



(推進期間)令和2年10月1日～令和3年3月31日

## 赤い羽根カードとバッジのご案内

本会窓口にて、以下の寄付金つきグッズを販売しております。  
寄付金付グッズによる募金にご協力をお願いします。

※各種、在庫に限りがありますので、購入をご希望される方はお早めに地域福祉推進課まで、お問い合わせください。

こんな募金の  
仕方もあります!



クオカード  
協力依頼額  
1枚  
1,000円  
(利用可能額500円)



図書カードNEXT  
協力依頼額  
1枚  
1,000円  
(利用可能額500円)



バッジ  
協力依頼額  
1個 500円



誰もがしがあわせになれる  
たすけあいのまちづくり



声を出して集める人も  
募金をする人もみんな  
ボランティア!

【問い合わせ】地域福祉推進課 TEL: 04-2925-0041

## 寄付報告

所沢社協では随時、寄付の  
受入れを行っています。お気軽  
にお問い合わせください。

(令和2年6月1日～令和2年8月31日受付分)

愛の福祉基金への寄付合計  
125,000円

企業・団体 所沢東ロータリークラブ様、株式会社中央管財様  
個人 匿名1名様

子ども未来基金への寄付合計  
340,000円

企業・団体 東所リサイクルの会様  
個人 矢野善二郎様、匿名9名様

社協への寄付合計  
25,000円

個人 足立圭子様、匿名2名様

物品寄付

企業・団体 株式会社所沢セレモニー様、第一生命保険株式会社  
所沢支社小手指営業オフィス様、所沢西営業オフィス様  
個人 平井紀美子様

※本会への寄付は寄付控除の対象となります。詳しくは、最寄りの税務署にご相談ください。

## 社協だより「ちゃお!」第97号 令和2年10月発行

発行：社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会  
住所：〒359-1112 埼玉県所沢市泉町1861-1  
(所沢市子どもと福祉の未来館3階)  
電話：04-2926-8202 FAX：04-2925-3419  
ホームページアドレス <http://www.toko-shakyo.or.jp/>  
印刷：東日印刷株式会社

簡単  
アクセス!  
→



所沢 社協 検索

所沢社協だより「ちゃお!」は、  
共同募金の配分金を活用しています。

点字版・音訳版もあります

点字版は「花みずき」、音訳版は「そ  
よかぜ」の両ボランティアグループに  
ご協力頂いております。ご利用され  
たい方は、社協までご連絡下さい。

次回、『ちゃお!』98号の発行は令和3年1月上旬(全戸配布)を予定しています。